

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	科学技術研究基盤整備利用方策調査	事業開始年度	昭和62年度	作成責任者		
担当部局庁	文部科学省研究振興局	担当課室	基礎基盤研究課 量子放射線研究推進室	量子放射線研究推進室長 高谷浩樹		
会計区分	一般会計	上位政策	科学技術振興のための基盤の強化			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国に存在する世界最高性能の第三世代放射光施設である大型放射光施設(SPring-8)をはじめとする数力所存在する放射光施設について、施設運営の観点から施設間の連携・協力や情報交換等を行い、各放射光施設における放射光利用研究に関する情報収集の充実及び放射光施設利用者の利便性の充実を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国に数力所存在する放射光施設が、施設運営の観点から施設間の連携・協力や情報交換を行う場として「放射光施設の連携・協力に関する連絡会議」を設置し、各放射光施設における放射光利用研究に関する情報収集の充実及び放射光施設利用者の利便性の充実を図るなど、我が国の放射光施設の連携・協力のあり方を調査・検討する。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年から21年の間に、「放射光施設の連携・協力に関する連絡会議」を5回開催。 平成21年8月 日英放射光産業利用ワークショップ出席 平成21年11月 第3回アジア・オセアニア放射光科学フォーラム(AOFSRR)出席 平成22年2月 第23回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム出席 ほか放射光施設現地調査等9件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2.0	2.0	1.9	1.9	-
	執行額	1.9	1.1	1.1		
	執行率	93.5%	55.2%	60.0% ※		
	総事業費(執行ベース)	1.9	1.1	1.1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 執行率が低いことから、計画段階からより具体的な設計に努めるべき。 放射光施設の連携・協力に関する連絡会議開催にあたっては、より充実した意見交換がなされるよう、開催方法を工夫すべき。 会議等出席や現地調査については、不要な出張は避け、本事業の目的に沿って重要なものに重点化するなど、より効果的・効率的な執行に努めるべき。 				
予算・監視の・所効見率化	<ol style="list-style-type: none"> 事業評価の観点:この事業は、我が国に数ヶ所存在する放射光施設について、施設間の連携・協力や情報交換等のための会議や調査等を行う長期継続事業であり、平成20年度及び平成21年度は予算の執行率も低くなっている。 所見:20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきである。 					
補記	※執行率が低いのは、予定していた調査の延期や謝金の辞退等が発生したため。					

【A】

文部科学省

1.1百万円

{
・職員旅費 0.7(百万円)
・委員等旅費 0.4(百万円)

事業概要
大型放射光施設(SPring-8)をはじめとする数カ所存在する放射光施設について、施設運営の観点から施設間の連携・協力や情報交換等を実施。

※全て本省にて直執行

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	会議出席・現地調査等	0.7			
委員等旅費	会議出席	0.4			
計		1.1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)